

平成30年 5月10日

運営スタッフ・審判・選手
指導者（監督・コーチ）・保護者 各位

青森県卓球連盟 理事長
各種大会競技委員長 藤森 俊
(公印省略)

大会運営の円滑化について

平素は、各種大会に携わる、運営スタッフ・審判・選手・指導者（監督、コーチ）の皆様から感謝申し上げます。

当卓球連盟主催の、今後より良い大会運営を図るため、下記事項を必読していただき、順守くださるようご協力の程お願いいたします。

記

1 共通項目（運営スタッフ・審判・選手・指導者・保護者）

- 色々な役割（運営スタッフ・審判・選手・指導者・保護者）がいて、試合をすることができます、お互いに感謝の気持ちを持ちましょう。
- 言葉使いに注意しましょう。（お互いに敬意を表しましょう。）
- 問題点・ハプニング・トラブル等が起きる場合もあります。冷静に素直に意見を聞ける耳を持ちましょう。

2 選手の皆さんへ

- 試合中だけでなく、一人のアスリートとして、マナーは大丈夫ですか。（対戦相手運営スタッフ・審判・指導者・保護者を不快にいませんか。）
- サービスの出し方は正しいですか。審判は特に次の点を注意して見えています。
 - ・トスが16cm以上、ほぼ垂直に上がっているか。
 - ・エンドラインの後方から出しているか。
 - ・トスを上げる時、ボールがテーブル（卓球台）の下からになっていないか。
 - ・フリーハンドや着用している物で、サービス開始から打たれる迄の間、隠していないか。

○スペアラケットは準備していますか。下記のようなラケットは試合で使えません。

・ラバーの損傷等、以下の☆印のような場合は試合で使用できません。

☆ラバーがラケット本体より2mm以上はみ出したり、小さすぎる場合

☆ラバーの打球面に穴やキズがある場合

☆ラバーの厚さ（接着剤を含む）が4mm以上のもの

※朝の練習で卓球台にぶついたり、試合中にも起こりうる場合があります。正しい

打球を予測できない理由から使用できません。試合が始まってからは、ラバーの貼り替えはルール上できません。金銭的な負担になりますが、スペアラケットの準備は、選手として絶対に必要です。

3 審判・大会補助員の皆さんへ

○共通項目にもありましたが、言葉使いは大丈夫ですか。特に小学生の試合の敗者審判が多いと思います。人生の先輩として、正しい態度・言葉使いで、小学生等の手本になって下さい。

○審判は常に公平でなければいけません。選手の違反サービスの1度目は警告、2度目は、フォルトになります。また、同様にマナーの悪い選手や、ベンチコーチには、イエローカード・レッドカードを呈示し、警告しましょう。

但し、敗者審判の試合には、疑問に思った時に主任審判に助言を求めましょう。

4 指導者・ベンチコーチの皆さんへ

○今年度（平成30年）の大会から、ベンチコーチに入る人は、指定コートベンチ席にある、コーチ証を首から下げることになりました。試合が終わったら、元の場所に忘れずに戻してください。

○日頃の練習で、正しいサービス、マナーについて指導しましょう。

○審判員も、人によって多少の基準の違いがあります。シングルス（ダブルス）の抗議は、選手のみできます。判定についての疑問は、選手に抗議させて下さい。

○ベンチコーチのルールは守られていますか。高校生以下の大会では、ゲーム中のアドバイスは一切できません。

5 保護者の皆さんへ

○朝の開館時の過度な場所取り（学校名・クラブ名の書かれた用紙を観覧席の上に置く等）は止めましょう。

○相手選手が不快になるような応援（威圧的・ヤジや大声・プレー中に声を出す等）は止めましょう。

○フラッシュ撮影は試合の妨げになるので、止めましょう。